

# 円高と消費増税

いまの日本の最重要課題はいつたい何でしょう？

原発再開？消費増税で円高が阻止ができると思うか？  
実際原発でも消費増税でもなく、円高阻止でしょう。

何の憂いもなく円を買うため、IMFや欧米は安心して円が買えるように消費税

を上げてほしいだけです。

消費増税で日本人がどれほど苦しくても、欧米は円高で儲かればいいだけです。

アメリカに従うことが本  
当に日本の国益になるのか  
アメリカの国益優先であつて、追従こそが日本の国益の親米「保守」は、そもそも衰退と崩壊の水先案内人ではないのか。  
現状の野田政権はアメリカの傀儡政権と見るのは私だけなのか。

消費増税を行えば円高はますます進行するだろう。  
1ドル50円は当たり前で日本円の置かれた構造が原因でそうならざるを得ない。

日本円の置かれた、日本人に不利な構造を解消し円高を終了させるため少なくとも100分の1のデノミ、

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2012年6月18日(月) NO. 255

地域から明るい未来を作ろう

将来の安泰を図るには100分の1のデノミを行い、  
銭・厘の補助通貨を復活し、  
1ドル0.8円あるいは1ドル0.08円とし、円の強さを交換レートに明示するように通貨構造を変更しなければ、円高は治まらな  
いと話される人もみえます。

核廃棄物を受け入れるよう

に頼まれたスイスの町の住民が「核廃棄物を受け入れるか」と聞かれた時、51%の住民がイエスと答えました。その後、「最高8000ドル払うから、引き受けてほしいと言われたら、どうするか」と質問を変えま

## 原発再開とカネ

した。すると受け入れ賛成派の50%が反対に回ったのです。つまりおカネを介在させてオフアされたら、たった25%しか受け入れないことが分かったのです。標準的な経済の理屈からすれば、

欧米の識者は、それを分かっているながら、自らの利益のために日本に消費増税を押し付けているのです。  
ポロが国民に暴かれる前に急がねばならぬです。



## 前世紀的な署人事

グローバル・スタンダードとは「アメリカ文明」のことです。

規範には見えるルールの「法」と、見えないルールの「道徳や慣習」がありま  
す。価値観の基本は見えないものです。士は書かれたルールの「法」を守るのは使命です。官の見えない基本を無視するルール解釈は本末転倒であります。  
経験豊富な審理専門官であつても、源泉異議審査では視野狭窄で稚拙な行政を執行する異常体質です。  
対峙無くば行政の冤罪はこれからも続く。官の謙虚さは見事に欠落していた。

ば、おカネを払えばサービスを

する気持ちが増すはず。しかし逆効果で、協力したいという住民の気持ちが弱くなった。このパラドックスをどうやって説明したらいいでしょう。このス

説明したらいいでしょう。このス

このス

核廃棄物はどこに置かない

とけない。もしこの自治体が地理的にもっとも安全であるなら無報酬で受け入れるべき。51%の住民はそう考えたのです。報酬が発生するなら、公益のため

に受け入れると言った人たちからすれば、それは賄賂に

当たり、受け取りたくないのです。つまり、おカネは市民としての義務を果たさうという気持ち

たということ。IMサンデル「白熱教室」